

令和7年度（2025-26）

北海道伊達開来高等学校



Welcome to Hokkaido Date Kaiki High School

Information for Prospective Students and Parents

School Guidebook



共に開こう 未来への扉！

Let's Open Doors To Your Future Together!

伊達開来高校によろこそ!!

令和3年(2021年)4月、北海道伊達開来高等学校(ほっかいどうだてかいきこうとうがっこう)が開校しました。伊達高等学校と伊達緑丘高等学校を再編し、普通科単位制の高等学校として新たなステージに踏み出しました。

生徒一人ひとりの多様な自己実現を全力で支援し、特色ある充実した教育内容を展開しながら、「地域と共に歩む道立高等学校」を目指していきます。

北海道伊達開来高等学校 学校長

藤村 学

「開来」(かいき)の由来

「継往開来」(けいおうかいらい)、言葉の意味は、先人の事業を受け継ぎ、発展させながら未来を切り開くことを表しています。つまり、北海道開拓の一翼を担った伊達市の足跡や、地域の教育を牽引してきた伊達高校と伊達緑丘高校の歴史と伝統を受け継ぎ、世界を視野に未来を見つめ、人生を切り開く人材を育成したいという願いを込めています。

一人ひとりの夢の実現へ

高校への入学は、ゴールではありません。皆さんの夢を叶える大切な過程です。伊達開来高校での学びは、自分の本質を気付かせ、伸びしろを最大限に引き出します。本校は、生徒にとって「通いたい」、保護者にとって「通わせたい」オンリーワンの学校を目指し取り組んでいきます。

みなさんの夢を本校で一緒に叶えましょう。



校訓 格致日新

校訓「格致日新」（かくちにつしん）とは、物事の道理や本質を、探究を通して深く学び、日々自己を向上させることを目指して、学校生活に励んでほしいという思いが込められています。本校の全ての教育活動の理念となる考えです。

学校教育目標

「情熱にあふれ たくましく しなやかに生きる人を育む」

3つのキーワード

情熱	前向きな姿勢や態度、関心、意欲、原動力
たくましさ	自立、主体性、挑戦、創造、探究
しなやかさ	共生、感性、多様性、協働性

校章



校章のデザインは、伊達開来高校の生徒たちが未来や世界に向かって羽ばたく「飛翔」を表現しており、中央の「D」（伊達開来）から、日々に新たに「成長」する姿勢を花びらのような翼で表現しています。未来への期待や輝きをイメージした黄色は「新たな夢の実現」を、北の湘南の爽やかな空や海をイメージした青色は「まだ見ぬ世界への挑戦」を、日本有数の藍の生産地である伊達をイメージした紺色は「地域の信頼」を表現しています。

スクールカラー

スクールカラーは紺藍（こんあい）です。伊達市は藍の生産が盛んであることから、スクールカラーには藍をベースとした「紺藍」にしました。「紺藍」は、濃い藍色であり、強く染めると伊達高校のスクールカラーである鉄紺に、浅く染めると緑色（伊達緑丘高校）になる色であり、両校の伝統を受け継ぎました。

School Policy 3つの方針

I 育成を目指す資質能力に関する方針

- 主体的に学び、意欲的に新たな学びに取り組む力
- 多様性を尊重し、互いのよさを認めて協働する力
- 地域社会に貢献し、持続可能な未来を創造する力

ジェネリック・スキル

育成を目指す資質や能力を育成するために必要な7つのジェネリック・スキル

● 傾聴力

要点を把握し、共感して他者の話を聞くことができる



● 自己肯定力

自己を理解して自信を持ち、他者を尊重することができる



● 分析力

課題を明確にし、本質がわかるよう整理することができる



● 表現力

考えをまとめ、他者にわかりやすく伝えることができる



● 思考力

課題の重点を認識し、解決方法を導き出すことができる



● 創造力

既存観念にとらわれず、新しい物事を考えることができる



● 調整力

異なる考えをまとめ、物事を判断し行動することができる



II 教育課程の編成及び実施に関する方針

単位制の趣旨を生かし、創意工夫に満ちた多様な社会に開かれた教育課程を編成・実施するとともに、生徒や地域の実態等を十分に踏まえ、次の3点を柱とする特色ある教育活動を実施します。

探究的学習プログラム

グローバル・プログラム

キャリア・プログラム

III 入学者の受入れに関する方針

基本的な生活習慣や中学校段階における基礎的な学力が身につけており、次のいずれかに該当する生徒の入学を期待する。

- 1 大学進学等進路目標を明確に持ち、その実現に向けて意欲的に学習に取り組むことができる生徒
- 2 グローバルな視点を持ち、様々な世界との交流やその文化を主体的に学ぶことができる生徒
- 3 地域と連携・協働しながら伊達市及び西胆振の未来を創造することに貢献することができる生徒

教育課程

本校では、普通教科に関する科目を中心に、就職から専門学校（看護系含む）や大学・短大への進学まで対応した、100以上の多様な科目を開設しており、生徒は自分の興味・関心や進路希望等に応じて必要な科目を選択して学ぶことができます。

また、生徒の学習の実態や進路希望等に応じて、少人数授業や習熟度別授業など、きめ細かな学習指導を受けることができるのが、本校の教育課程の大きな特徴です。

令和8年度入学生教育課程表

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

1年次	現代の国語	言語文化	歴史総合	地理総合	数学Ⅰ	数学A	化学基礎	生物基礎	体育	保健	芸術選択		英語コミュニケーションⅠ	情報Ⅰ	総合的な探究の時間	LHR
											音楽Ⅰ					
											美術Ⅰ					
											書道Ⅰ					

2年次	論理国語	公共	数学選択		体育	保健	英語コミュニケーションⅡ	論理・表現Ⅰ	家庭基礎	物理基礎	2年次 選択科目		共通選択		総合的な探究の時間	LHR
			数学Ⅱ								化学	数学B	日本史探究			
			発展数学A								古典探究	実用数学A	世界史探究			
			数学基礎A								英語探究基礎 <small>ビジネスアプリ ケーションA</small>	英語探究発展	生活と福祉	地理探究		
									地学基礎	国語教養	発展スポーツA	文学国語	古典探究	物理	生物	地学
												課題研究				

3年次	論理国語	英語コミュニケーションⅢ	論理・表現Ⅱ	体育	だて学	3年次 選択科目								簿記		総合的な探究の時間	LHR
						数学Ⅲ	化学	小論文研究	日本史発展	数学C	実用数学B	エンセライティング	生物				
						数学探究	理科課題研究	英語課題探究基礎	世界史発展	国語探究	応用古典	音楽Ⅱ	公民応用				
						発展数学B	古典探究	英語課題探究発展	地理発展	デッサン	書写	美術Ⅱ	実用国語				
						国語表現	経済に親しむ	音楽実技	理科応用	音楽に親しむ	ビジネス コミュニケーション	書道Ⅱ	化学基礎発展				
						政治に親しむ	書に親しむ	美術表現	物理研究	ビジネス計算	情報デザイン	情報テクノロジー	コンプレックスの制作と表現				
						フードデザイン	色彩に親しむ	数学基礎B	生物研究	ビジネスアプリ ケーションB	保育基礎						
						情報システムの プログラミング	ネットワークシステム	倫理	音楽教養	服飾手芸	化学研究						
								政治・経済	書道表現		生物基礎発展						
										発展スポーツB							

だて学（3年次必履修科目）

歴史ある伊達市の伝統と文化を学ぶ科目です。複数の分野に分かれ、地域を題材にそれぞれのテーマに基づいた探究的な学びを進めます。

※令和7年6月時点。変更する可能性もあります。

探究的学習プログラム

Inquiry-Based Learning Program

すべての教育活動において、探究的な学習活動を取り入れます。実際の学習活動では、講義中心の授業だけではなく、自ら考え、アイデアをグループで話し合い、発表等を通してクラス全体で共有するといった活動を行い、学びを深めていきます。

正解のない課題に対し、さまざま意見や考えを交えながら、自らが最適解を導きだしたり、興味のある内容に探究的なアプローチで学びを深めるなどして、本校が育成を目指す資質・能力を育みます。

進学探究クラス

一般受験で選抜制の高い国立大学や私立大学への入学を目指すといった同じ目標を持つ生徒が集団になると、その集団の意識の高さが個人の意識をより高め、進学に向けて全員が互いに切磋琢磨する雰囲気生まれます。このような相乗効果を狙った、ワンランク上の大学進学を目指す「進学探究クラス」を設けます。

2年次以降は進路希望の動向などにより「進学探究クラス」と「自己探究クラス」の生徒の入れ替えなどを予定しています。



55分授業

1単位時間を55分とし、授業等における探究的な活動の充実を図ります。毎日の各教科・科目において話し合いやグループワークなどを行った後、55分の授業時間すべてをプレゼンテーションに充てることもあります。また、少人数指導やティーム・ティーチングを行うなどして、個に応じたきめ細かな指導を行います。

自己探究クラス

探究的、体験的な学習を通じて、公務員や一般企業などへの就職希望者、医療系・調理系・介護福祉系などといった専門学校、あるいは道内外の様々な大学・短大への進学希望者など、自分のやりたいこと、学びたいことを探究しながら、個々の多様なキャリアの実現を目指す「自己探究クラス」を設けます。



グローバル・プログラム

Glocal Program

グローバル（グローバル + ローカル）・プログラムとは、地球規模の視野で考え、地域の視点で行動する学習活動です。国内外の実際のフィールドで体験的な学びやその振り返りをしながら学びを深めていきます。

Local

伊達市をまるごとフィールドワーク

伊達市をまるごと探究的な学習活動のフィールドの場として実践的なフィールドワークを行います。

伊達市はもちろんのこと企業等と連携して生徒が商品開発やクラウドファンディングなどをして起業したり、市の施策の提案等を市や議会と連携・協働して行うとともに、地元企業の方々や各分野の専門家からアドバイスをいただいて学びを深めていきます。

コンソーシアム

伊達市や地元企業、大学、専門学校、関係教育機関等とコンソーシアムを構築し、生徒が行う地域課題や進路実現等の解決に向けた学習活動をサポートします。



Global

海外見学旅行

2年次に生徒全員が海外（アジア圏）への見学旅行を予定しています。見学先では現地の高校生との交流や日本では体験することができない史跡巡りなど、グローバルな視点に立った、異文化交流を計画しています。

カナダ留学

海外留学や英語を深く学びたいなどの希望者の中から選抜して、カナダ（レイクカウチン）への研修を予定しています。研修先では、ホームステイなどをしながら地域の高校生との交流や大学等を訪問するなど体験的な学習ができるよう計画しています。



3年F組 栗橋 優心

今回の留学を通して英語力が向上し、さらに文化や価値観の違いを学ぶことができました。私は本当に英語が苦手で留学に申し込むかギリギリまで悩んでいましたが、新しいことに挑戦したいと思い申し込むことにしました。

最初の1か月は全く聞き取れなく、友達の話についていけなかったり、授業の内容も分からないことばかりでした。残りの期間で英語が上達するのかと毎日不安でしたが、2か月過ぎたころからいつの間にか少しずつ聞き取れるようになり、成長を感じました。友達に話しかけたり、先生に質問してみたりなど、とにかく英語にふれることを心掛けていました。この留学でたくさんの人に出会って、たくさんを経験できて、自分の視野がとても広がりました。留学に少しでも興味のある方は、絶対に行くべきだと思います。不安なこともあるかもしれないけど、多くの方がサポートしてくれるので、ぜひ留学に挑戦してほしいです。

3年F組 沼田 和磨

今回カナダ留学でリスニング力を学びました。カナダに着いてはじめての1か月くらいは自分から積極的に話しかけても相手の言っていることが理解できず、会話が続かないことが多々ありました。しかし、諦めず積極的に話しかけていくことで、いつの間にか単語が聞き取れるようになっていたり、自分の言いたいことを伝えられるようになりました。また、日本に帰ってきて英検や模試のリスニングを行うと留学に行く前よりもリスニング力が上がり、聞き取れるようになっていました。

カナダの学校では日本とは全く違い自由度が高く、自分の受けたい授業をとることができ、とても新鮮でした。また、毎日生活しているだけで英語を学ぶことができるし、たくさん思い出や友達を作ることができるなど、毎日学校に行くことがとても楽しかったです。もし、留学を考えているのなら、こんなにサポートしてくれる留学は二度と経験できないと思って、応募することをお勧めします。

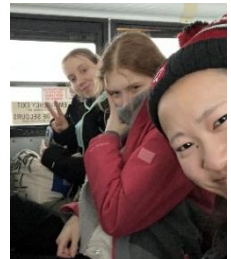


カナダ留学体験記

3年F組 藤原 麗未

私がカナダ留学を体験して感じたことは、自分から行動をする積極性が大事だということです。最初の1か月ほどは、英語を聞き取り理解するのに精一杯でした。また、他の留学生と英語力を比べてしまうこともありましたが、自分から話しかけたり、分からないところは聞いたりすることでだんだんと会話を理解できるようになりました。そこで友達と話が弾んだことで、会話に慣れてきたことに実感がわきとてもうれしかったのを今でも忘れられません。自分の英語力の向上や日常的な会話表現を身に付けることができました。また、生活に慣れていくうちに、いろいろな国の文化の違いや価値観の違いなど学ぶことができました。

英語を理解しコミュニケーションを取るのは大変でしたが、積極的に話しかけたり遊んだりしていくうちに毎日楽しく、あっという間に過ぎてしまいました。もし、留学したいと少しでも考えているのなら、絶対挑戦すべきです。



キャリア・プログラム

Career Support Program

一人ひとりの進路実現のため、きめ細かなキャリア支援を行います。

模試や資格検定等の受験料の補助

大学進学や看護系大学、公務員、就職における模擬試験等の受験料や、資格検定の受験料を一部補助し、より積極的に模試や検定試験等に挑戦してもらいたいと考えています。

※本校で取得可能な資格（1級～3級）

- ◆英語検定 ◆漢字検定 ◆簿記実務検定
- ◆情報処理検定 ◆ビジネス文書実務検定 など



充実した講習内容

放課後等に行う講習は、「進学講習」や「公務員試験対策講習」など様々な進路に対応できるよう充実した内容となっています。1年次には、しっかりと基礎力をつけ、年次が上がるに従い、希望する進路に対応した講習を行います。

大学進学予備校との連携

選抜制の高い大学進学のため、大学進学予備校の映像講習、直接指導が受けられる対面講習（夏冬講座）、生徒及び保護者対象の進学説明会の実施等、ワンランク上の大学進学を実現するサポート体制を大学進学予備校と連携して進めていきます。

また、看護系進学や公務員就職を志望する生徒にはオンライン学習教材を活用し進路指導を充実させていきます。



ICTを活用した学習

学習用に各教室にWi-Fiが整備されていますので、生徒所有の端末で学習することができます。より効果的な学習のため、スタディサプリを活用し、授業だけでなく家庭学習でも自らのペースに合わせて学習することができます。

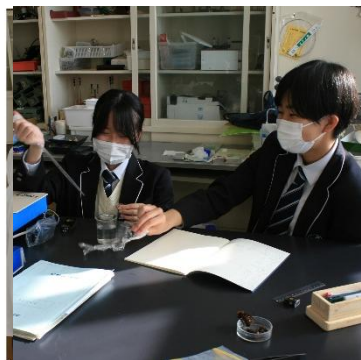


部活動

Extracurricular Activities



部活動は、心身をリフレッシュさせるだけでなく仲間とともに自主的・自発的に活動することによって学校生活を豊かにし、人間性や社会性を育成します。



部活動・同好会・外局 令和7年5月現在

野球	サッカー	バスケットボール	バレーボール	バドミントン
ソフトボール	ソフトテニス	卓球	陸上	弓道
美術	書道	家庭	科学	漫画研究
			吹奏楽	メディア
				剣道
				柔道
				軽音楽
				図書
				ボランティア

360°体感!



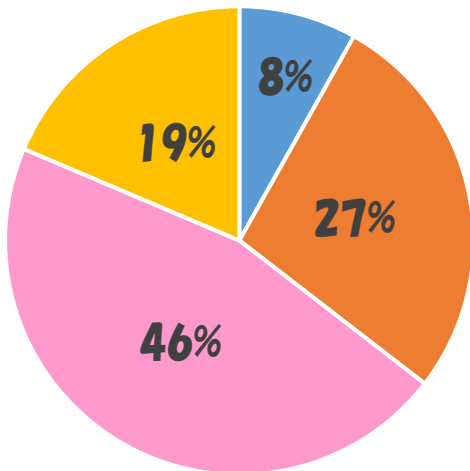
進路実績

主な進路合格先

国 公 立 大 学	室蘭工業大学
	小樽商科大学
	札幌市立大学
	釧路公立大学
	静岡大学
	旭川市立大学
	山口大学
	北海道教育大学
	名寄市立大学
	青森県立保健大学

私 立 大 学	北海学園大学
	北星学園大学
	日本赤十字北海道看護大学
	北海道科学大学
	関西外国語大学
	日本医療大学
	龍谷大学
	北翔大学
	札幌学院大学
	札幌大学

短 期 大 学 ・ 看 護 専 門 学 校	北海道武蔵女子短期大学
	北星学園大学短期大学部
	札幌国際大学短期大学部
	光塩学園女子短期大学部
	市立室蘭看護専門学校
	日鋼記念看護学校
	北海道看護専門学校
	旭川厚生看護専門学校
	札幌看護医療専門学校
	苫小牧看護専門学校



- 国公立大学
- 私立・短大
- 看護・専門
- 就職・公務員

専 門 学 校	大原法律公務員専門学校
	札幌医療秘書福祉専門学校
	札幌科学技術専門学校
	札幌こども専門学校
	日本工学院北海道専門学校
	北海道医薬専門学校
	北海道歯科衛生士専門学校
	北海道情報専門学校
	北海道福祉教育専門学校
	吉田学園公務員法科専門学校

公 務 員	伊達市役所
	豊浦町役場
	北海道職員
	北海道警察
	自衛隊一般曹候補生
民 間 就 職	伊達信用金庫
	株式会社伊達観光物産公社
	トヨタ自動車株式会社
	北紘建設株式会社
	セコム株式会社

制 服

男女ともに、ブレザースタイルを採用。スクールカラーの紺藍をモチーフにデザインされ、襟部分には白のパイピングを施し、すっきりとした印象になっています。女子のスカートは、世界に唯一の「伊達開来チェック柄」を使用しています。また、スラックスを選択することもできます。

制服の素材は、適度なストレッチ性があり、授業中、机に向かう前傾姿勢などの際に身体の負担を軽減します。



伊達開来高校学校評価アンケート (保護者・生徒)



	評価項目	保護者	生徒
学習指導	1 教科シラバスの内容はわかりやすく作成されている	3.0	3.2
	2 学力向上に向けた取り組みをしている	3.0	3.2
	3 「わかる授業」の指導方法を工夫している	2.9	3.1
	4 家庭学習の習慣化に向けた取り組みを行っている	2.7	2.7
	5 自らの考えを深める活動を行っている	3.0	3.3
生徒指導・教育相談	6 基本的な生活習慣の指導がなされている	2.6	3.1
	7 生徒指導方針が十分理解されている	2.6	3.0
	8 いじめの未然防止に努めている	2.7	3.0
	9 共感的な人間関係を構築されている	2.9	3.2
	10 学校・保護者・地域の連携した生徒指導を行っている	2.7	3.0
	11 交通安全指導を行っている	3.0	3.2
	12 健康・安全・性に関する指導を行っている	2.9	3.2
進路指導	13 安心・安全を確保できる教育環境づくりに努めている	2.8	3.2
	14 充実したキャリア教育の充実を図っている	2.9	3.3
	15 科目選択・講習等の充実を図っている	3.0	3.3
特別活動	16 保護者と連携した進路指導を推進している	2.8	3.1
	17 学校行事や生徒会活動の活性化に努めている	2.9	3.2
	18 部活動と学習の両立が図られている	3.0	3.1
組織運営	19 学校行事や部活動に関して親身に関わっている	3.0	3.3
	20 積極的な情報提供に努めている	2.9	3.1
	21 地域関係機関と連携した環境づくりに努めている	2.9	3.2
	22 探究的な学習活動の充実にも努めている	2.9	3.2



伊達市からの支援

「地域とともに歩む道立学校」として、本校は、地域に根ざした、充実した教育活動を展開するため、伊達市から次の内容について支援を受けています。

①魅力ある教育活動（グローバル人材の育成）への支援

- 海外見学旅行の実施に係る費用助成（2年次生全員）
- カナダ留学の実施に係る費用助成（希望者選抜）
- ALT配置に係る費用助成

②学力向上に対する支援

- 進路実現に向けた大学進学予備校等による進学指導に係る費用やオンライン学習教材（スタディサプリ）等の活用などに対する費用助成
- 模擬試験や検定等の受験料に係る費用助成
- 奨励費（大学進学入学一時金）の支給（選抜）

③学校力等向上に対する支援

- スポーツ・文化活動等の活性化、競技力向上を目指す部活動への支援
- 「だて学」などの学校における探究的な学習活動に対する支援



アクセス



〒052-0011
北海道伊達市竹原町44番地
TEL:0142-23-2525

HP: <http://www.date-kaiki.hokkaido-c.ed.jp/>

令和7年6月 発行

